

謝辞

数年前のことですが、近所の小学生が集団登校途中に、犬に噛まれました。普段から、小学生たち（私の息子を含む）は、その犬をからかっていたようなのですが、そのときは、たまたま首輪がはずれていたそうです。

大きなケガにはならなかったのですが、学校にも連絡が入り、結局その犬は処分されることになりました。

飼い主の方の思いは知ることができませんが、子供を噛んだという事実に基づいて、妥当な決着となったように思います。

もちろん、殺された犬は可愛そうだし、飼い主の方も無念でしょう。子供たちにも非があるわけです。

日本は、今まさしく新しいエネルギー政策について、議論を重ねているところです。原発も事故を起こしてしまった以上妥当な決着をせねばなりません。

日本人は古来より、そのようにして秩序を保ってきたのですから。

私たちは今、一人一人が、物事に疑問を持ち、情報を取捨選択して学習し、自己の意見を持ち、判断することが重要です。

本プロジェクトの遂行には、福島県庁エネルギー課の皆さん、地権者である平田さん、J-PECの皆さん、全国から南相馬市小高区に集ったボランティアの皆さんに、多大なご協力をいただきました。心から感謝しています。

報告書を書き終えて、日本のエネルギー政策を静かに見守ると共に、ベンチャー企業の代表として、次の一步をどのように踏み出すか、更なる思いを巡らせています。

2014年2月吉日

株式会社フォーハーフ

代表取締役 亀井秀郎